



客員教員

いまい ただお
今井 忠男 先生

秋田大学大学院国際資源学研究科教授

出身地 京都府宮津市（天橋立の近く）

出身大学 秋田大学鉱山学部／秋田大学大学院鉱山学研究科

専攻／専門分野 資源学／専門分野：鉱業史・岩盤工学・骨材資源学など

趣味・特技 愛犬の世話

印象に残っている本 カフカの「変身」、高校生の頃に何気なく読み、今またカフカと近代鉱山との関係を知って、読み直しました。

学生に薦めたい本 「菅江真澄 図絵の旅」、「伊能忠敬の日本地図」、自ら学ぶことの基本が伝わります。

好きな言葉・理由 最澄の言葉「一隅を照らす、これすなわち国宝なり」とは、自分が何処にあらうとも、ベストを尽くす人が国の宝であり、最澄はそういう人を育てなさいと説いています。

学生へのメッセージ あなたにとって「いま必要な学び」が何であるのか、一緒に考えたいと思います。

鉱山とは何か？

－秋田の鉱山史から探る人と鉱山の関係－

日時： 月1回、主に水曜日 9:30～11:45

場所： 秋田学習センター講義室

形式： 講義と演習

テキスト： 資料を配付

【主旨】 人類は、地球の鉱物を利用することで文明を築いてきました。すなわち、鉱物を採取する場所が鉱山であり、鉱山は人類の文明と共に現在まで、数多く存在し続けています。一部の人類にとっては、文明発展や鉱山開発は目的ではなく、衝動なのかも知れません。本ゼミでは、このような鉱山の本質について、秋田の文明と鉱山の歴史から探って行きたいと考えています。

【内容】

(A) 次のような人類の歴史を鉱山の視点から考える

洞窟画、塩、石器・土器、貨幣、銅・鉄、漆喰・コンクリート、
火薬、肥料、風車・水車、産業革命

(B) 秋田の歴史を鉱山の視点から考える

- ① 院内銀山と湯沢・角館地域
- ② 阿仁鉱山と阿仁川・米代川流域そして仙北地域
- ③ 太良鉱山と藤琴川流域
- ④ これら3つの鉱山が連携し発展する秋田藩

